



日本赤十字社

食物アレルギー負荷試験(1泊2日)で入院される()さま

主治医は、
病棟師長は、
担当看護師は、

	入院当日(検査前)	入院当日(検査中)	入院当日(検査後)	入院2日目(退院日)
月・日・曜日	/ ()			/ ()
食事・栄養	昼食は11時30分までにすませてください。	アレルギーのある食材を含むものは摂取しないでください。	医師の診察後、夕食よりアレルギー食をお出しします。	アレルギー食を食べてから、医師の診察後退院になります。
安静度	検査2時間前は激しい運動を控えてください。	運動などで症状を誘発する場合がありますので、検査中は安静にお過ごし下さい。		
清潔		検査後は入浴はできません。		帰宅後は入浴できます。
検温	検査前に体温測定、血圧測定を行います。	最終摂取後2時間は30分毎に誘発症状の観察を行います。	検査後も注意深く症状観察を行います。	起床後、症状の有無を観察します。
	必要な場合は点滴をすることがあります。			
検査	安全に過ごしていただくために、入院中にご家族の付き添いをお願いします。	医師の診察後、13時30分から30～60分ごとに2～3回にわけて検査食を食べていただきます。		
説明・指導	看護師による説明と身長・体重測定、本日の予定・病棟案内等 付き添いベッド(有料)が必要な場合は入院当日に看護師長または担当看護師へ直接お知らせください。	アナフィラキシーを含めたアレルギー症状に対して、適宜対応します。(全身の発疹や痒み、口唇の腫脹、息苦しさ等) 必要に応じて抗ヒスタミン剤内服、吸入、点滴、アドレナリンの筋肉注射を行います。 入院中に栄養士による栄養指導を行うことがあります。 お子様の安全のためにベッド柵は必ず上段まで上げ、転倒転落にご注意ください。		医師より退院後の指導があります。

*体調の変化が特になければ、予定通り検査を行います。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずねください。

2023年9月作成 広島赤十字・原爆病院 小児科